

さけ・ます資源増大対策調査事業（老部川サクラマス産卵床調査）

静 一徳

目 的

サクラマス野生魚の資源評価のため、河川での産卵状況を把握する。

材料と方法

2016年10月18日に、老部川本流の砂防堰堤から下流の3.3 km区間と、中ノ又沢の北ノ又沢下流部にある堰堤から本流合流点までの2.0 km区間にて、調査員2名でサクラマス産卵床を目視調査し、地図上に産卵床の位置を記録した（図1）。また、調査中に見つかったサケ、サクラマスの生体、死体の個体数を記録した。

結果と考察

確認した産卵床は、本流14床、中ノ又沢5床の計19床であった（図1、表1）。産卵床密度（産卵床数/100m）は本流0.42床/100m、中ノ又沢0.25床/100mで、本流のほうが高かった。産卵床は全て淵の下流部に形成されていた。調査中に確認したサクラマスの生体、死体を合わせた数は、本流で10尾、中ノ又沢で0尾、計10尾であった（表2）。

老部川では老部川内水面漁業協同組合がヤナと曳網にてサクラマス親魚を捕獲している。親魚捕獲は10月12日が最終日であり、合計捕獲数は107尾であった。10月18日の本調査では10尾が確認されたことから、2016年の老部川への全遡上数は107尾 + 10尾 = 117尾以上であったと考えられた。このことから、2016年は全遡上数の少なくとも9%（117尾中、10尾）を取り残し、それらが河川にて自然再生産を行ったと推察された。

謝 辞

調査にご協力いただいた老部川内水面漁業協同組合に感謝します。

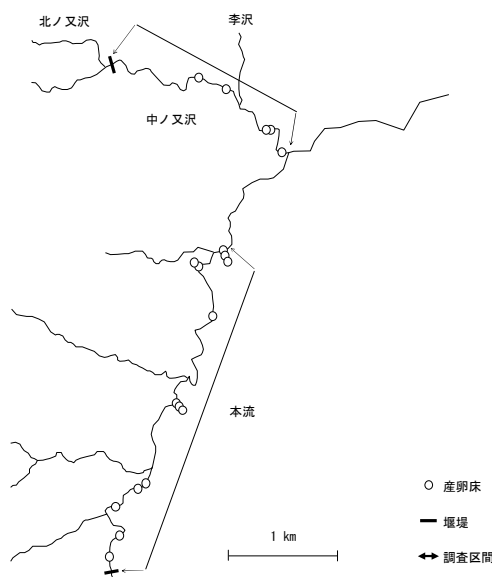


図1. 老部川におけるサクラマス産卵床調査区間と産卵床分布状況（2016年）

表1. サクラマス産卵床調査結果

調査区間 (km)		本流 3.3	中ノ又沢 2.0
河床型	位置	産卵床数	産卵床数
淵	上流端部	0	0
	中部	0	0
	下流端部	14	5
合計		14	5
産卵床密度 (床/100m)		0.42	0.25

表2. サクラマスの生体、死体数（尾）

	生体	死体	計
本流	3	7	10
中ノ又沢	0	0	0